

職業実践専門課程等の基本情報について

| | | | | | | | |
|---|--|---------------------------|--------------|-----------|--------------|---|------|
| 学校名 | | 設置認可年月日 | | 校長名 | | 所在地 | |
| 東京ベルエポック美容専門学校 | | 平成20年10月31日 | | 川戸 功一 | | 〒 134-0088 (住所) 東京都江戸川区西葛西6丁目24番16号 (電話) 03-5658-9090 | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | | 代表者名 | | 所在地 | |
| 学校法人滋慶学園 | | 昭和58年12月23日 | | 浮舟 邦彦 | | 〒 134-0084 (住所) 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311 | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | 専門士認定年度 | 高度専門士認定年度 | 職業実践専門課程認定年度 | | |
| 衛生 | 衛生専門課程 | トータルビューティ科 | 平成27(2015)年度 | - | 令和1(2019)年度 | | |
| 学科の目的 | 知識・技術・発信力・セルフプロデュース力を備え、お客様のニーズに応えることができ、お客様から信頼されるビューティアドバイザー、ファッションアドバイザー、ネイリスト、エステティシャン、インフルエンサーを目指す。 | | | | | | |
| 学科の特徴(取得可能な資格、中退率等) | JNECネイリスト技能検定3級、色彩活用パーソナルカラー検定3級、JNAジェルネイル初級検定、JESCメイクアップアーティスト検定。日本コスメティック協会コスメマイスター検定、おもてなしマスター検定、CAA化粧品販売員検定(シルバー)(ブロンズ)、美肌検定。中途退学者2名・中退率3.8% | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | ※単位時間、単位いずれかに記入 114 単位 | 16 単位 | 250 単位 | 0 単位 | 0 単位 | 0 単位 |
| 生徒総定員 | 生徒実員(A) | 留學生数(生徒実員の内数)(B) | 留學生割合(B/A) | | | | |
| 80 人 | 52 人 | 1 人 | 2 % | | | | |
| 就職等の状況 | ■卒業者数(C) : 32 人 | | | | | | |
| | ■就職希望者数(D) : 28 人 | | | | | | |
| | ■就職者数(E) : 28 人 | | | | | | |
| | ■地元就職者数(F) : 0 人 | | | | | | |
| | ■就職率(E/D) : 100 % | | | | | | |
| | ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 0 % | | | | | | |
| | ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 88 % | | | | | | |
| | ■進学者数 : 0 人 | | | | | | |
| | ■その他 | | | | | | |
| | (令和7年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報) | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 | | | | | | |
| | ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL | | | | | | |
| 当該学科のホームページURL | http://www.tbe.ac.jp/course/biyo | | | | | | |
| 企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入) | (A: 単位時間による算定) | | | | | | |
| | 総授業時数 | | 〇〇 単位時間 | | | | |
| うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 | | 〇〇 単位時間 | | | | | |
| うち企業等と連携した演習の授業時数 | | 〇〇 単位時間 | | | | | |
| うち必修授業時数 | | 〇〇 単位時間 | | | | | |
| うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 | | 〇〇 単位時間 | | | | | |
| うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 | | 〇〇 単位時間 | | | | | |
| (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) | | 〇〇 単位時間 | | | | | |
| (B: 単位数による算定) | | | | | | | |
| 総授業時数 | | 266 単位 | | | | | |
| うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 | | 0 単位 | | | | | |
| うち企業等と連携した演習の授業時数 | | 106 単位 | | | | | |
| うち必修授業時数 | | 62 単位 | | | | | |
| うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 | | 0 単位 | | | | | |
| うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 | | 38 単位 | | | | | |
| (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) | | 0 単位 | | | | | |
| 教員の属性(専任教員について記入) | ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) | | 0 人 | | | | |
| | ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) | | 2 人 | | | | |
| | ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) | | 0 人 | | | | |
| | ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) | | 0 人 | | | | |
| | ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) | | 0 人 | | | | |
| | 計 | | 2 人 | | | | |
| 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 | | 1 人 | | | | | |

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。現場経験、講師経験豊富な企業と連携し教育を提供。カリキュラム、授業手法等、教材作成等の助言の協力が得られる体制がとれる企業を選定。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実践するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記されている。これらに基づき、カリキュラム検討会議で審議し、学校長許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年6月15日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|--|-------------------------|----|
| 平松 康成 | 日本コスメティック協会 | 令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年) | ① |
| 野田 かをり | パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポン株式会社 営業本部retailヒューマン リソースマネージャー | 令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年) | ③ |
| 清野 美幸 | 株式会社イプサ 人事マネージャー | 令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年) | ③ |
| 古島 暉大 | 学校法人滋慶学園 常務理事 | 令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年) | — |
| 川戸 功一 | 東京ベルエポック美容専門学校 学校長 | 令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年) | — |
| 三井 真以子 | 東京ベルエポック美容専門学校 運営本部長 | 令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年) | — |
| 中村 聖之 | 東京ベルエポック美容専門学校 事務局長 | 令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年) | — |
| 石渡 尚子 | 東京ベルエポック美容専門学校 トータルビューティ科学科長 | 令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年) | — |

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (5月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和7年5月27日 14:00～16:00

第2回 令和7年10月28日 14:00～16:00

第1回 令和8年10月27日 14:00～16:00(予定)

第2回 令和9年2月16日 14:00～16:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

2024年度から開始されたビューティプロデュース専攻での産学連携での実績が増え、専攻だけではなく学科全体として評価を頂いている。

メイク業界については、スキンケアのブランド就職も毎年増加傾向にあり、引き続きブランド研究や目指す業界を明確にできるような卒業生講話などを取り入れ、即戦力になれる人材育成のカリキュラムに反映できるように取り組みを実施している。また、就職については新入職のコミュニケーション力や継続力のご意見を頂き、グループワークの実施をし意見交換ができるような環境設定を実施している。

さらに、今年度は就職に向けての意欲を持たせる取り組みとしても、TOPゼミを早い段階から取り入れ職業理解、就職意欲につながるカリキュラムを改善していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、業界と連携し、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。そのため、特に演習科目においては現場で活躍するプロが講師として授業を行っている。卒業後即戦力として活躍できる人材を養成するための授業内容を、業界関係者とともに企画立案・実施達成度評価を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界の求める技術・知識水準を指導できる講師を連携企業から派遣してもらう。事前に学科長と連携企業の講師が授業前に、授業内容、評価等について定める。連携企業講師には、シラバスの策定、試験の実施、評価まで行ってもらう。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
|------------|--|--|
| メイクアップ総論Ⅰ | メイク基礎の知識と技術を習得する。 | 有限会社ビ アルケミスト |
| ヘアメイクⅠ | ヘアメイクに必要なヘアとメイクのトータル技術を習得する。また、自分自身のスタイルからも美しさを演じられ提案できるように学ぶ。 | 一般社団法人コスメティックアカデミー 一般社団法人化粧品販売員検定協会 |
| ネイルケア&アート | 美容の職業に就くにあたり、必要なネイル技術・知識を習得する。基礎的な具術を始め、美容のプロになるための心得を習得する。 | 株式会社ユミ・クリエーション |
| パーソナルカラー | 似合う色を身につけることでよりよく自己を印象づける「自分ブランディング」ができるようになるポイントを学ぶ | 色彩活用研究所株式会社 |
| トータルビューティⅠ | ファッションに合わせたメイク、ネイル、ファッションのトータルコーディネートを学ぶ。 | 株式会社ユミ・クリエーション 一般社団法人イメージプロデュース協会 |

| | |
|--|------------------------|
| 3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係 | |
| (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教職員研修諸規定に定められている通り、教職員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の修得、向上させるために行うことを基本方針とする。 | |
| (2)研修等の実績 | |
| ①専攻分野における実務に関する研修等 | |
| 研修名: 国家試験対策研修会 | 連携企業等: 一般社団法人滋慶教育科学研究所 |
| 期間: 令和7年6月4日(水) | 対象: 専任教員 |
| 内容 国家試験100%学科の取り組みを聞き、自校でできることを考える | |
| 研修名: J-WEB教員向けガイダンス | 連携企業等: 一般社団法人滋慶教育科学研究所 |
| 期間: 令和7年6月12日(木) | 対象: 専任教員 |
| 内容 JWEBを活用し学生支援研修 | |
| 研修名: EAST全体教務研修 | 連携企業等: 上越教育大学 教職大学院) |
| 期間: 令和7年12月8日(月) | 対象: 専任教員 |
| 内容 チームやクラスの中で自律協働できる人材を育成するためのキャリア教育の考え方と手法を学ぶ | |
| ②指導力の修得・向上のための研修等 | |
| 研修名: 生成AI リスキリング研修 | 連携企業等: 労働局 |
| 期間: 令和7年8月4日(火)～8月7日(金) | 対象: 専任教員 |
| 内容 新しいスキルを習得することにより、業務の効率化や問題解決能力が向上し、個々の生産性を高める | |
| 研修名: カウンセリング研修一次 | 連携企業等: 一般社団法人滋慶教育科学研究所 |
| 期間: 令和7年9月17日(水) | 対象: 専任教員 |
| 内容 カウンセリングマインドを学び、学生や保護者に対応できるようにスキル向上を目指す | |
| 研修名: キャリア教育インストラクター研修 | 連携企業等: 一般社団法人滋慶教育科学研究所 |
| 期間: 令和8年1月23日(金) | 対象: 専任教員 |
| 内容 成長の原則＝3つの行動原則、セルフマネジメントの重要性を学生に伝えるアプローチ | |

| (3) 研修等の計画 | | |
|---------------------|---|---------------------------|
| ① 専攻分野における実務に関する研修等 | | |
| 研修名: | CPOアカデミック資格更新「eラーニング講座」 | 連携企業等: 一般社団法人日本プライバシー認証機構 |
| 期間: | 令和8年5月29日(金) | 対象: 専任教員 |
| 内容: | 個人情報保護・管理について継続的に広範な知識を習得する機会とする | |
| 研修名: | EAST全体教務研修 | 連携企業等: 上越教育大学 教職大学院) |
| 期間: | 令和8年6月22日(月) | 対象: 専任教員 |
| 内容: | 『勇気づけ』で再構築する教員と学生の信頼関係 | |
| 研修名: | EAST全体教務研修 | 連携企業等: 上越教育大学 教職大学院) |
| 期間: | 令和8年12月7日(月) | 対象: 専任教員 |
| 内容: | クラスの空気が変わる、学生が動き出す | |
| ② 指導力の修得・向上のための研修等 | | |
| 研修名: | FDマイクロレベル<スタート>研修Ⅱ | 連携企業等: 一般社団法人滋慶教育科学研究所 |
| 期間: | 令和7年6月11日(水) | 対象: 専任教員 |
| 内容: | クラスの成長を促すコーチングの基礎を学び、実践することができるようになる | |
| 研修名: | カウンセリング研修二次 | 連携企業等: 一般社団法人滋慶教育科学研究所 |
| 期間: | 令和7年9月17日(水)～令和7年9月19日(金) | 対象: 専任教員 |
| 内容: | カウンセリングマインドを学び、学生や保護者に対応できるようにスキル向上を目指す | |
| 研修名: | 国家試験対策研修会 | 連携企業等: 一般社団法人滋慶教育科学研究所 |
| 期間: | 令和6年6月5日(水)～7月26日(金) | 対象: 専任教員 |
| 内容: | 国家試験100%学科の取り組みを聞き、自校でできることを考える | |

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

評価の内容を審議・評価することを通して、学園に理念でもある4つの信頼(学生、保護者、高校、業界、地域)に基づく、学校運営の改善に活かすことを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------------|--|
| (1) 教育理念・目的・目標 | 理念・目的・育成人物像 |
| (2) 教育課程、教育の実施、学修成果 | 教育課程の編成、授業科目、教育内容、単位・卒業認定、目標の設定と評価 |
| (3) 学生受入れ学生支援 | 学生募集及び入学者の選抜、収容定員管理、自主学習促進支援、修学支援、生活支援 |
| (4) 教員・教育実施組織 | 教員の配置、募集、採用、組織編制、教員の資質向上 |
| (5) 教育環境 | 環境整備、安全対策、防災組織、施設・設備等 |
| (6) 教育活動の基盤と改善・向上の取組 | 中期事業計画と財務基盤、学校運営、学校評価の実施と改善活動、情報公開 |

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果は翌年度における重点課題への反映及び、自己点検・自己評価の各評価項目における到達目標設定に活用する。また、委員から上がった詳細の意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、具体的な取り組みに落とし込んでいく。登校習慣の身につけていない学生や合理的配慮が必要な学生への対応、および教育については社会背景の要請に適応してブラッシュアップし学内実習や各導入教育等、見直し・対策を立て、職業意識をもって行動できるよう全ての授業において人間教育を軸に取り組みを行う。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|-----------------------------|-------------------------|------|
| 関 久美 | ピラス株式会社 アテンダントスタッフ人事部 部長 | 令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年) | 業界団体 |
| 卯月 睦彦 | 敬愛学園高等学校 学校長 | 令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年) | 高校関係 |
| 空田 真之 | 協和物産株式会社 代表取締役 | 令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年) | 地域関係 |
| 福島 賢太 | playce 代表取締役 | 令和8年4月1日～令和10年3月31日(2年) | 卒業生 |
| 新田 あかり | 保護者代表 | 令和7年4月1日～令和9年3月31日(2年) | 保護者 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.tbe.ac.jp/school/info>

公表時期: 令和8年6月15日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学内で毎年定める事業計画の執行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業生の離職防止等)を具体化するため、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員との間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出た意見を実行案へと反映させている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|--------------------|----------------|
| (1) 学校の概要、目標及び計画 | 学校の概要、目的及び計画 |
| (2) 各学科等の教育 | 各学科等の教育 |
| (3) 教職員 | 教職員 |
| (4) キャリア教育・実践的職業教育 | キャリア教育・実践的職業教育 |
| (5) 様々な教育活動・教育環境 | 様々な教育活動・教育環境 |
| (6) 学生の生活支援 | 学生の生活支援 |
| (7) 学生納付金・修学支援 | 学生納付金・修学支援 |
| (8) 学校の財務 | 学校の財務 |
| (9) 学校評価 | 学校評価 |
| (10) 国際連携の状況 | 国際連携の状況 |
| (11) その他 | その他 |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.tbe.ac.jp/school/info>

公表時期: 令和8年6月15日

授業科目等の概要

| (衛生専門課程 トータルビューティ科) | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-------|------|------|---------------|--|--------------|-------------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | 授業科目名 | | | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業 時 数 | 単 位 数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| | 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| 1 | ○ | | | 導入教育 | 目的意識を高め、プロに必要なことが何かを認識する。同じ目的を持った仲間との相互支援環境を作る。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 2 | ○ | | | プロフェッショナルへの道Ⅰ | 業界および職種について理解を深め、自分の目指す将来像を明確にする。プロになるために自己管理が出来るようになる。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 3 | ○ | | | プロフェッショナルへの道Ⅱ | 業界および職種について理解を深め、自分の目指す将来像を明確にし、就職内定に向けた身構え、気構え、心構えを身につける。 | 1後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 4 | | ○ | | プロフェッショナルへの道Ⅲ | 自分の目指す将来像を明確にし、就職内定に向けた準備を行う。美容に対する興味・理解をより深め、将来美容の現場で役立つ知識を身につける。 | 2前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 5 | | ○ | | プロフェッショナルへの道Ⅳ | 自分の目指す将来像を明確にし、就業に向けた準備を行い、将来美容の現場で活躍する為の知識を身につける。 | 2後 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 6 | ○ | | | おもてなし | 接客業において必要なおもてなしの心を育む。おもてなしマスター検定に合格する。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | | | ○ | | ○ | |
| 7 | ○ | | | メイクアップ総論Ⅰ | ナチュラルメイクと補正メイク皮膚科学と基礎化粧品知識。 | 1前 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| 8 | | ○ | | メイクアップ総論Ⅱ | ナチュラルメイクとタッチアップメイクの知識と技術を習得する。 | 1後 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| 9 | | ○ | | メイクアップ総論Ⅲ | 様々なテーマやお客様の要望にあわせたメイクアップが出来る知識と技術を習得する。 | 2前 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| 10 | | ○ | | メイクアップ総論Ⅳ | 年齢別、嗜好別にあわせたメイクアップが出来る知識と技術を習得する。スチール撮影に適したメイク技術を習得する。 | 2後 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| 11 | ○ | | | ヘアメイクⅠ | ヘアの基本技術を習得し、店頭や就職活動にふさわしいヘアスタイルを自分で作れるようになる。 | 1前 | 60 | 4 | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|------------|--|----|----|---|--|---|---|--|--|--|--|---|---|
| 12 | ○ | | ヘアメイクⅡ | ヘアメイクを作成するにあたり必要なヘアとメイクのトータル技術を習得する。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 13 | ○ | | フォトシューティング | 様々なファッションに合わせたメイク技術を学ぶ。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 14 | ○ | | トレンドネイルⅠ | ジェルネイル検定初級対策&トレンドジェルアート | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 15 | ○ | | トレンドネイルⅡ | ジェルジェルアート&セルフネイル | 2後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 16 | ○ | | フェイシャルエステ | フェイシャルエステの基礎知識と基礎技術 | 1前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| 17 | ○ | | ネイルケア&アート | ネイリスト技能検定3級に合格するための技術、理論を学ぶ。 | 1前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 18 | | ○ | ファッション総合 | ファッションやパーソナルスタイリングの知識を得る。 | 1前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 19 | | ○ | セルフプロデュースⅠ | 自己のブランディングを通して発信力を磨く。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| 20 | | ○ | セルフプロデュースⅡ | LIVEコマースを意識し、商品の良さをPRする力を身に付ける。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| 21 | ○ | | セルフビューティ | 自分自身を磨くセルフレッスン(スキンケア～メイク) | 1前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| 22 | ○ | | グローバルサービス | 外国人接客に必要なコミュニケーションを学ぶ(英語・韓国語) | 1後 | 30 | 2 | | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| 23 | ○ | | パーソナルカラー | 美容に必要な、色の知識を学び、色彩感覚を身に付ける。 パーソナルカラー検定3級に合格する。 | 1後 | 30 | 2 | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ |
| 24 | ○ | | ブランド研究Ⅰ | 様々なブランドの特徴を学び、同時に発信力も身に着ける。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| 25 | | ○ | ブランド研究Ⅱ | 様々なブランドのコンセプトを理解し、ブランドマネジメントを身に付ける。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | | | ○ | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---------------|---|----|----|---|--|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 26 | | ○ | ブランド研究Ⅲ | ブランドマネジメントを活かし、ブランドプロデュース力を身に付ける。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 27 | ○ | | ヨガ | 健康に基づく美容を学び、美容意識の向上とお客様に運動アドバイスが出来るようになる。 | 1後 | 30 | 2 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 28 | | ○ | トレンドリサーチⅠ | SNSで話題のトレンド情報を学び、同時に発信力も身に付ける。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 29 | | ○ | トレンドリサーチⅡ | SNSマーケティング、撮影&動画編集スキルを身に付ける。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 30 | | ○ | トレンドリサーチⅢ | SNSマーケティング、撮影&動画編集スキルを身に付ける。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 31 | | ○ | スキンケアカウンセリングⅠ | スキンケアカウンセリングの知識とエステ基礎を学ぶ。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 32 | | ○ | スキンケアカウンセリングⅡ | 店頭で役立つテクニックとカウンセリングロールプレイ。コスメマイスター対策、アロマ検定対策。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 33 | | ○ | スキンケアカウンセリングⅢ | スキンケアカウンセリングロールプレイで提案力を磨く。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 34 | ○ | | トータルビューティⅠ | メイク、ネイル、ファッションのトータルコーデを学ぶ。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 35 | | ○ | トータルビューティⅡ | スタイリングにあわせたファッションテクニックとネイル技術を習得する。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 36 | | ○ | トータルビューティⅢ | トレンドの美容技術、知識を学ぶ。 | 2後 | 90 | 6 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 37 | ○ | | パーソナルスタイリング | パーソナルスタイリストとして知識向上。TOPPS検定対策。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 38 | | ○ | トータルサロンⅠ | 美容知識で大事な提案力や接客力を磨き、お客様に指名される美容のプロを目指すようになる。 | 1前 | 30 | 2 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |
| 39 | | ○ | トータルサロンⅡ | カウンセリング力やコミュニケーション力を養うロールプレイングにてセルフプロデュース表現力を磨く | 1後 | 30 | 2 | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----|---|---------------|---|----|----|---|---|---|---|
| 40 | ○ | 接客マナー | ビジネスマナー、接客マナーを習得する。即戦力となる対応を身につける。検定対策。 | 2前 | 60 | 4 | ○ | ○ | ○ |
| 41 | ○ | ビューティ技術論Ⅰ | 業界で活躍するプロから最新の技術を学ぶ。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | ○ | ○ |
| 42 | ○ | ビューティ技術論Ⅱ | 業界で活躍するプロからヘアメイクを目指す上で、必要なスキルを学ぶ。 | 1後 | 30 | 2 | ○ | ○ | ○ |
| 43 | ○ | ビューティ技術論Ⅲ | 業界で活躍するプロからヘアメイクから感性bを養い作品作りに活かせるようになる。 | 2前 | 30 | 2 | ○ | ○ | ○ |
| 44 | ○ | ビューティ技術論Ⅳ | 業界で活躍するプロのヘアメイク業界へ即戦力となれる技術、知識を学ぶ。 | 2後 | 30 | 2 | ○ | ○ | ○ |
| 45 | ○ | アシスタントプログラムⅠ | ヘアメイク業界について学び、現場に行けるための技術・知識を身に付ける。 | 1前 | 30 | 2 | ○ | ○ | ○ |
| 46 | ○ | アシスタントプログラムⅡ | ヘアメイク業界について学び、現場に応じた技術・知識を身に付ける。 | 1後 | 30 | 2 | ○ | ○ | ○ |
| 47 | ○ | アシスタントプログラムⅢ | ヘアメイク業界について学び、現場に行けるための技術・知識を身に付ける。 | 2前 | 30 | 2 | ○ | ○ | ○ |
| 48 | ○ | メイクアップⅠ | 道具の扱い方を覚えスキンケア、ベースメイクが出来るようになる。モデルに合わせた補正メイクが出来るようになる。 | 1前 | 60 | 4 | ○ | ○ | ○ |
| 49 | ○ | メイクアップⅡ | テーマに合わせたメイクアップ技術を学び、舞台メイクなどの技術が出来るようになる。 | 1後 | 60 | 4 | ○ | ○ | ○ |
| 50 | ○ | ヘアスタイリングⅠ | ヘアスタイリングの基術が出来るようになる。イメージ別のヘアスタイルが作れるようになる。 | 1前 | 60 | 4 | ○ | ○ | ○ |
| 51 | ○ | ヘアスタイリングⅡ | イメージに合わせたヘア技術と成人式のヘアスタイルが出来るようになる。 | 1後 | 60 | 4 | ○ | ○ | ○ |
| 52 | ○ | 着付け | 着付けの基本技術を身に付け、自分で着物を着る、人に着物を着せることが出来るようになる。着付け(初伝・中伝)に合格する。 | 1前 | 60 | 4 | ○ | ○ | ○ |
| 53 | ○ | ファッションコーディネート | ブライダルにおける、ドレスフィッティング技術が出来るようになる。 | 2前 | 30 | 2 | ○ | ○ | ○ |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|---|------------|--------------------------------------|----|-----|---|---|---|---|--|---|---|
| 54 | | ○ | スチールヘアメイクⅠ | スタジオ撮影に向けたヘアメイク技術を身につける。 | 1後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 55 | | ○ | スチールヘアメイクⅡ | 外部撮影に向けたヘアメイク技術を身につける。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 56 | | ○ | スチールヘアメイクⅢ | 多様な撮影環境でも対応できるヘアメイク技術を身につける | 2後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 57 | | ○ | ブライダルヘアメイク | 婚礼の形式やドレスに合わせたヘアメイク技術を身につける | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 58 | | ○ | ブライダル総合 | ブライダルブーケや花を使ったヘッドピース作成が出来るようになる。 | 2前 | 30 | 2 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 59 | | ○ | 特殊メイクⅠ | 傷や骨格補正の特殊メイクが出来るようになる。 | 2前 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 60 | | ○ | 特殊メイクⅡ | エアブラシの基本技術を学び、メイクやボディペイントに生かすことが出来る。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 61 | | ○ | 卒業制作 | 学習の集大成として習得したヘアメイク技術を駆使して作品を創り出す。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 62 | | ○ | 美容総合技術 | サロン系技術や知識を身に着けることができる。 | 2後 | 60 | 4 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 63 | | ○ | デザインヘアメイク | 創造したイメージをヘアメイクを通じてデザイン出来るようになる。 | 2後 | 60 | 2 | | ○ | ○ | | | ○ |
| 64 | | ○ | 実習前教育 | 企業研究等を行い、実習へ向けての準備を整える。 | 2前 | 30 | 2 | ○ | | ○ | | ○ | |
| 65 | | ○ | 現場実習Ⅰ | 実習の目的・意義を理解し、実習へ向けて目標設定をする。 | 2前 | 90 | 6 | | ○ | | | ○ | ○ |
| 66 | | ○ | 現場実習Ⅱ | 現場において求められる接客やお客様対応の基礎を学ぶ。 | 2前 | 120 | 8 | | ○ | | | ○ | ○ |
| 67 | | ○ | 現場実習Ⅲ | 現場において求められる接客やお客様対応の基礎を実践する。 | 2前 | 120 | 8 | | ○ | | | ○ | ○ |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|-------|--|----|-----|----|---------------------|---|---|---|
| 68 | ○ | 現場実習Ⅳ | 現場において求められる接客やお客様対応・提案の基礎を学ぶ。 | 2後 | 120 | 8 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 69 | ○ | 現場実習Ⅴ | 現場において求められる接客やお客様対応・提案を実践する。 | 2後 | 120 | 8 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 70 | ○ | 現場実習Ⅵ | 現場において求められる接客やお客様対応・提案を総合的に実践できる。 | 2後 | 120 | 8 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 71 | ○ | 実習後教育 | 現場実習の体験を振り返り、成果と課題を抽出し今後のアクションプランを立てる。 | 2後 | 60 | 4 | ○ | ○ | ○ | |
| 合計 | | | | | 71 | 科目 | 1710時間114 単位 (単位時間) | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | | 授業期間等 | |
|------------|---|----------|-----|
| 卒業要件： | 定期試験及び臨時試験(論文・レポート含む)、平素の学習状況の3要素で評価。また、所定の強化課目及び所定の授業時間数【卒業認定要件：必修1710時間114単位】を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められた場合、卒業を認定する。 | 1学年の学期区分 | 2期 |
| 履修方法： | 所定の教科課目及び所定の授業時間【卒業認定要件：必修1710時間114単位】を履修 | 1学期の授業期間 | 15週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。